

計画事業番号	00202	事務事業名	幼稚園協会連携事業	担当部署	保健福祉部子育て支援室保育課	電話	2205
--------	-------	-------	-----------	------	----------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市幼稚園協会補助金交付要綱				
事務事業開始年度	昭和54年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 1) 幼児教育の振興・充実	
2 対象	北広島市幼稚園協会	
3 目的と内容	市内私立幼稚園及び認定こども園(8施設)の連携・協力体制を強化し、本市における幼児教育の振興、質の向上を図るため、幼稚園協会を支援する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	私立幼稚園協会へ補助金を交付。 補助額 160,000円
	29年度	昨年度と同様に私立幼稚園協会へ補助金を交付。 補助額 160,000円

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
幼稚園協会に助成	私立幼稚園協会へ補助金を交付。 補助額 160,000円	幼稚園協会に助成	幼稚園協会に助成	幼稚園協会に助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	幼稚園協会には、市内の全私立幼稚園、認定こども園が加入しており、加入施設が協力して幼児教育の研究・研修事業を実施することは、本市の幼児教育の振興及び資質の向上に寄与していることから、今後も継続して事業を実施していく。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			160		160		160		160	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	160		160		160		160	
	① 合計	160		160		160		160		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	420	0	420	0	420	0	420	0
総事業費①+④			580		580		580		580	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①協議会加入施設数	目標値 実績値	8 8	8	8	8
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①園長研修実施回数	目標値 実績値	5 7	5	5	5
	【指標の定義(算式等)】					
	②教職員研修実施回数	目標値 実績値	5 6	5	5	5
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市内の全幼稚園、認定こども園が加入している協会が、本市の幼児教育の振興のため実施する研究や研修等に補助するものであり、市としての支援は妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	会議、研究・研修の実施により、幼児教育の質の向上が図られているとともに、市内8施設の連携、協力体制の強化にもつながっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	幼保小連携事業における各種交流会、研修会等へ幼稚園協会が積極的に関わっていくことで、更なる質の向上が期待できる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	幼稚園協会の事業は、市補助金のほか、各施設からの負担金で展開されており、市補助金の削減は、幼児教育の質の向上を図る事業の縮減につながるため困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 202

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	私立幼稚園協会補助金		
交付先の名称 及び代表者名	北広島市幼稚園協会 会長 高橋 美千代	設立年	昭和54年
構成員(団体)数	市内私立幼稚園・認定こども園 8施設		(29年3月末現在)
交付先団体等の 活動目的	各施設が連携し、幼児教育の研究や研修等を実施し、市内私立幼稚園、認定こども園の資質の向上を目指すことを目的とする。		
交付先団体等の 活動内容	園長研修 教職員研修 石狩管内幼稚園協会との連携		
事務局の状況 (28年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	160	160	160	
	会費	100	100	100	
	繰越金				
	収 入 合 計(B)	260	260	260	
支 出	報償費	100	68	70	
	旅費	30	44	45	
	需用費	6	26	9	
	役務費	6	89	6	
	その他	118	33	130	
	支 出 合 計(C)	260	260	260	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	62 %	62 %	62 %	
	補助・交付金の対象経費(項目)	研修費	研修費	研修費	
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	260	260	260	
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	62 %	62 %	62 %	
	補助・交付金の算出根拠	定額(交付金的要素の強い補助金)			